



みんなのねがい
第83集

わかるとかわる

「性のありよう」を知ることです



2023 (令和5) 年9月1日スタート

「おおいたパートナーシップ宣誓制度」

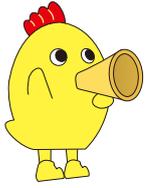
大分市は、市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会の実現をめざしています。この理念に基づき、性的マイノリティの方々への理解を深めて、誰もが暮らしやすい地域社会につなげるため「おおいたパートナーシップ宣誓制度」の運用を開始します。一方または双方が性的マイノリティのお二人が、お互いを人生のパートナーとして日常生活において相互に協力し合うことを約束した関係であることを宣誓し、大分市が宣誓の事実を認めるとともに受領証等を交付する制度です。

おおいた市人権イメージキャラクター
「キズナース」



大分市・大分市教育委員会

1 “知ること” ～「性のありよう」とは?～



9月から「おおいたパートナーシップ宣誓制度」が施行されたね。表紙の説明にある性的マイノリティって、LGBTのことだよな…? 「性的マイノリティ」「LGBT(エルジービーティー)」という言葉聞いたことはあるけれど、よく分からないから教えて!

「性的マイノリティ」は、「性のありよう」について社会的に少数派となる人たちのことをいうんだよ。

そして、「LGBT」は性的マイノリティを表す言葉のひとつとして使われているんだ。

- L : (レズビアン) 女性の同性愛者
- G : (ゲイ) 男性の同性愛者
- B : (バイセクシュアル) 両性愛者
- T : (トランスジェンダー) こころの性とからだの性が一致していない人



ひとつということは…、L・G・B・Tの4つ以外にもあるの?

あるよ。例えば、

Q : (クエスチョニング) こころの性や好きになる性がわからない、はっきりしていない人

他にも、

- Xジェンダー : こころの性が男女のどちらでもない人
- Aセクシュアル : 他者に対して恋愛感情や性的欲求を抱かない人
- ノンセクシュアル : 恋愛感情はあるが性的欲求を抱かない人
- パンセクシュアル : 好きになる相手の性別にこだわりがない人

これでもすべてではなく一部なんだよ。

「性のありよう」はとても多様であることから、+ (プラス) をつけて、「LGBTQ+ (エルジービーティーキュープラス)」と表現することも増えてきているんだ!



なるほど!説明の中に、「からだの性」「こころの性」「好きになる性」ってあるけど何? 「性のありよう」を決める要素はこの他にもあるの?

「性のありよう」は次の4つの要素で考えることが多いんだ。

からだの性 (生物学的性)

からだの特徴によって決まる性

こころの性 (性自認)

自分の性をどのように感じているか

どの性を好きになるか、
またはならないか

好きになる性 (性的指向)

自分の性をどのように
表現するか (服装や髪型など)

表現する性 (性表現)

だから、「LGBT」のL・G・Bは「好きになる性」
Tは「こころの性」に着目しているんだよ。





そっか…。
4つの要素を表にすると、

男性なら、

【からだの性】男 ●————— 女
【こころの性】男 ●————— 女
【好きになる性】男 —————● 女
【表現する性】男 ●————— 女

女性なら、

【からだの性】男 —————● 女
【こころの性】男 —————● 女
【好きになる性】男 ●————— 女
【表現する性】男 —————● 女

って考えてしまうけれど…

実は…

【からだの性】男 ●————— 女
【こころの性】男 ●————— 女
【好きになる性】男 —————● 女
【表現する性】男 —————● 女

●が端であるとは
限らない

【からだの性】男 —————● 女
【こころの性】男 —————● 女
【好きになる性】男 —————● 女
【表現する性】男 —————● 女

●が打てるとも
限らない

【からだの性】男 ●————— 女
【こころの性】男 —————● 女
【好きになる性】男 —————● 女
【表現する性】男 —————● 女

●であるとも
限らない

ということになるね。



つまり

わたしたち一人ひとりに
自分の「性のありよう」があるんだ!

だから、最近では特定の人を示す
「LGBTQ+」ではなく、

好きになる性(性的指向) : セクシュアル Sexual オリエンテーション Orientation
こころの性(性自認) : ジェンダー Gender アイデンティティ Identity
表現する性(性表現) : ジェンダー Gender エクスプレッション Expression

の頭文字をとって「SOGIE(ソジー)」という
考え方へと変わってきているんだ。

「SOGIE」はすべての
人がもっている要素だから、
自分には関係のない
話ではなく、誰もが当事者(自分自身の問題)と
捉えやすくなるね。



「性のありよう」がこんなに多様であるって初めて知ったよ!

もっと知るために、講演活動や性的マイノリティの方々の
サポートをしている奥 結香さんの話を聴いてみようよ!





自身のセクシュアリティ(性のありよう)を明らかにして講演活動を行っている

おく ゆい か

奥 結香さん

・SOGIE サポートチームココカラ！ 共同代表(2017年～)

・NPO 法人 テト カンパニー TetoCompany 理事長

1

性的マイノリティへの理解は進んでいると思いますか？



性的マイノリティが身近にいるという前提がない社会なので、自分の近くに当事者がいるという意識がなく「あの人はゲイらしいよ」と噂を聞くことがあったり、「それってレズ？(笑)」とからかいの対象にされたりする現状がまだまだあります。2018年にSOGIEサポートチームココカラ！で実施したアンケート調査※の、【性的マイノリティであることで今まで困ったことについて】という項目でも「周りの人との関係が壊れるのが怖くて言えない」「苦しくて自殺を図った」「同性と付き合っているのをカミングアウトしたら親との縁がきれた」などの回答もありました。**性別に関係なく制服を選択することができる学校が増えたり、「LGBT」という言葉が浸透していたりと社会の変化を感じますが、十分ではないと思っています。**



※大分県在住の性的マイノリティの方 大分県に住んでいたことのある性的マイノリティの方を対象



異性愛が規範とされている社会の中で、「彼氏はいるの？」「どんな男の人がタイプ？」「結婚は？」などと聞かれるたびに、何も言えずにごまかしたりする状況になっていました。また、私自身に大切な人(同性)ができた時に、その存在を周囲に隠すこと自体に違和感

を持っていました。

カミングアウトすることは怖いことで、友だちや家族から拒否されるかも…という不安はとても強かったです。ですが、今後も繋がっていく大切な友だちや家族に本当のことを知ってほしい、大切な人のことを伝えたい…そのような気持ちが上回り、私はカミングアウトすることにしました。

2

自分のセクシュアリティをカミングアウトした(打ち明けた)のはなぜですか？



3

講演活動を始めたきっかけは何ですか？



私自身が性的マイノリティの当事者の一人として悩んだ過去がありました。自分自身が周囲にカミングアウトをしたことで「実は私も…」と、これまで繋がっていた人からの相談が増えました。その時に、「性的マイノリティであることで生きづらさを感じる人がこんなにもいるのだ」ということに驚きと憤りを覚え、同じように感じる人が一人でも少なくなりたい、どのような人でも自分らしく生きることができる社会にしていきたいと思うようになりました。そのためには、啓発活動が必要だと感じたのがきっかけです。テレビの中の話ではなく、身近な問題であるという意識を持っていたら…という思いで講演活動を続けています。



の思いを～

4 他人の性自認や性的指向などを本人の許可なく、他人にばらしてしまう「アウトティング」が問題になっていますが、どう思いますか？



「アウトティングは命にもかかわる問題である」という意識が必要です。アウトティングによって、自分が思う人生を描けなくなった人もいます。本人からセクシュアリティをカムフラウトされても勝手に他の人に言わない、うわさなどで聞いても広めない、という気持ちをもっていただきたいです。



自分のセクシュアリティを誰にも言わずに生きていくという選択もできたと思います。でも、その選択をしていたら「セクシュアリティを知られたら自分の周りには誰もいなくなる」とネガティブに考えて生きてきたかもしれません。“自分にできることをする”と決めた結果、自分のセクシュアリティを社会にオープンせざるを得なくなった…という複雑な想いもありますが、今はそのままの自分を認めることができ、自分のことを好き!と言える生き方ができています。家族や周囲の友だちもセクシュアリティのことを知った上で一緒に過ごしてくれているので気持ち的にも楽になりました。過去の自分のように誰かを信じることができずに生きるのではなく、人の温かさを感じながら生きることができている今がとても幸せだと思います!



5 今の自分をどう思いますか？



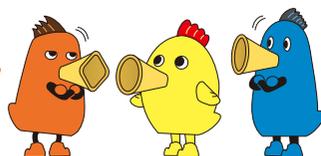
6 今の生き方を家族はどう思っているんですか？



どう思っているのでしょうか…。直接聞いたことはありませんが、応援をしてくれていると思います。過去にはセクシュアリティが理由で母と言い合いになったことがたくさんありました。お互いを理解し合うのに10年間程かかりました。社会も今ほど寛容ではなかったこともあり、母も一人で悩んでいたのではないかと思います。今は、このような活動をするに対しても「あなたのマイナスにならなかつたらいいと思う」と言ってくれ、パートナーに対しても「家族のようなものだから」と、食事に誘ってくれたり家族で集まる時にも声をかけたりしてくれます。パートナーの性別は関係なく、人として見てくれているのではないかと思います。母には感謝しかありません。



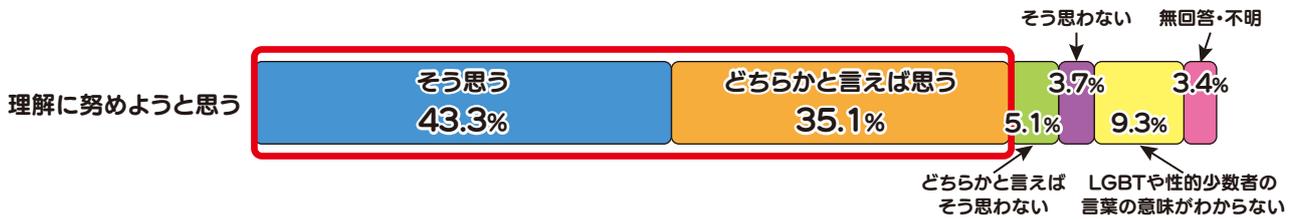
奥さんがこれまでの経験を話してくれたから、感じたことや考えたことなどが分かったよ。でも、話せない人もいるよね。そして、その人たちもそれぞれに感じたことや考えたことがきっとあるはず…。自分のことを話したい!と思った時に話せる社会がいいよね。そのために、偏見や差別をなくしていこう!!



3 思いを行動へ

ちょっとこれを見て!

◆ あなたは、LGBTなどの性的少数者の人権問題について、どう思いますか?



これは、2020年度に大分市が実施した「人権に関する市民意識調査」の結果なんだけど、78.4%の人が「理解に努めよう」と思っているんだ。理解するために大切なことって何かな?

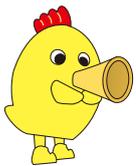
「人権に関する市民意識調査」報告書はこちら→



身長や顔も、見た目も、どのような性格をしているかも一人ひとり異なり、多様です。それと同様にセクシュアリティも一人ひとり違うものです。お互いの違いを否定し合う社会より、理解し合うほうが温かい社会だと考えています。違いを「理解する」ためには、まずはそれぞれの違いに「慣れる」ことだと思います。それが、多様性を認め合うということにつながっていくのではないのでしょうか。



そのためには、わたしたち一人ひとりが性が多様であることを「知り」、当事者の思いや願いを「感じること」が大事なんだね!! だからこそ「学びの機会」を大切にしていこうよ!



なるほど!
それが“わかる”ことにつながるね。“わかる”と自分が“かわる”そして、そんな人が増えれば社会が“かわる”んだよね!!
そうすると偏見や差別をなくしていける!

その通り!!

部落差別をはじめあらゆる差別の解消も“わかる”ことから始まるんだ。



「わかる」と「かわる」

差別のない明るい未来に向かって、
思いを行動へと移そうよ!

「おおいたパートナーシップ宣誓制度」
についてはこちらから↓



豊かな心を育む人権・同和教育

大分市教育委員会 教育部 人権・同和教育課

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号 TEL.097-537-5651 FAX.097-532-8102